平成９年４月25日 第３種郵便物認可

民主 PRESS MINSHU
号外
埼玉県第14区
八潮版

八潮市議会議員
大久保たつお

八潮市議会レポート
民主市民クラブ代表:大久保龍雄

まっすぐに！ひたむきに！

〒340-0802
八潮市鶴ヶ曽根2014
TEL/FAX048(996)8618
t-ookubo34@kusanone.jp

2009年４月 NO.13

20年12月議会

12月１日より18日まで開催 **【それが市民や市に良いことか？が基本】**

平成20年第４回定例会が開催され、20年度補正予算関係11議案・条例関係13議案・議員提出５議案・合計29議案を審査しました。私は一般会計補正予算に「健康・スポーツ都市宣言」予算（総額1444万２千円）が計上され、内容を調査したところ、講師謝礼（100万円）会場設営（156万８千円）**日めくりカレンダー印刷費（960万円）**です。「宣言」自体は良い事だと思いますが、なぜ、カレンダーを作成する必要があるのか！講師が必要か！華美な会場費が必要か！趣旨を考えれば体育館の補修やグランド整備、あるいは21年度に行うであろう冠事業費に当てるべき！と反対しました。しかもカレンダーの全戸配布予定が３月中旬から４月です。また、第４次八潮市総合計画基本構想の一部改定案については、「反対討論」を行いました。第３章に「つくばエキスプレス」の東京駅への延伸を促進とあります。**大久保たつお**はこの問題につき、政府答弁を調査したところ、平成16年３月１日衆議院予算委員会第８分科会で行われていました。質問者はまったくの偶然ですが、当時衆議院議員だった**「中野譲」**氏です。秋葉原～東京間約２キロ。建設費の積算根拠が大深度なので１キロあたり300億円・駅部に400億円・合計1000億円と大雑把。しかも費用負担割合が東京都４割・茨城県３割・千葉県２割・埼玉県１割の100億円。問題は埼玉県だけ地元負担があり、八潮市が100億円のうち約18億円・三郷市が約15億円です。金利負担を考慮すれば**軽く20億円を超える**負担になります。さらに政府答弁を調査しました。利便性の向上と言うが、東京駅予定地が丸の内側の丸ビル直下であり、新幹線乗車まで徒歩20分以上かかると思われる（新幹線ホームは八重洲口）費用対効果・八潮市の重い負担・さらに考えれば**総額 1000 億円は国民の血税です。**こんな計画にたいし、促進する姿勢を示すことは大反対です。地方主権・地方分権と言われています。たとえ「国であれ県であれ」理不尽なことは声を張り上げ、ものを言うべきではないでしょうか！！！

意見書

大久保たつおが提案しました「公契約法の制定を促進し適正な労働条件の確保を求める意見書」が全会一致で可決され、衆参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣・国土交通大臣に送付しました。

内容を抜粋しますと建設産業は元請・下請けという重層的な請負関係であり、景気悪化のなか競争の激化が労務費の引き下げになり、生活の不安定につながっている。よって、公共工事等においては建設労働者の適正な賃金が確保されるよう「公契約法」の制定を促進する。（諸外国では整備されています）

一般質問

まっすぐに！ひたむきに！

１．教育問題について

＊実際は質問と答弁は交互ですが、紙面の都合上まとめました

11月１日現在の小中学校の児童生徒数をみると小学校では八條北小と八幡小では約4.08倍、潮止中と大原中では約4.1倍の開きがある。そのほかの学校間でも大きなばらつきがあるが。

① どのような問題があるか　②文科省の示す適正規模学級数は
③ 学区変更希望者数は　④その主な理由は
⑤ 平成23年度の小学校入学者数が最大で6.5倍・25年度は6.8倍になる、見解を
⑥ 児童生徒数が以前の約半数で、学校数が同じである。小中一貫教育も大事だが、根本問題ではないか

矢継ぎ早に質問しました。答弁を抜粋しますと　①小規模校ではクラス変えができず人間関係が固定化する・クラブ活動ができない・担任外が配置されず教師が何役もこなさなければならない等　②小中とも 12～18 学級　③小学校で 25 名・中学校で 100 名　④人間関係・いじめ対応・通学の利便性　⑤重大な問題と認識している。今後、通学区域審議会を通して検討したい　⑥承知しているが、簡単には答えがでない。先人達が苦労されて現在に至っている。たとえば、通学区域の見直しや学校の統廃合の考え方もあるが、地域の皆様のご理解や市全体を考慮し慎重に考えて行きたい。（教育長）

大久保たつおの意見

ピーク時には児童生徒が約 12,600 名でしたが現在は 54%の約 6,800 名です。八條北小では全学年が 1 クラス・中川小では 4 つの学年が 1 クラスです。適正規模に達していない学校が中学でも 2 校あり、学校間の人数の格差が今後、益々開きます。真剣に取組まなければいけない問題です。

【小中 15 校の児童生徒数一覧】　　平成 20 年 11 月 1 日現在

八條小	潮止小	八幡小	大曽根	松之木	中川小	八條北	大瀬小	大原小	柳之宮	八潮中	大原中	八條中	八幡中	潮止中
492	567	682	466	552	218	165	482	659	350	661	656	214	488	159

【小学校入学予定者数】

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
八條北	26	37	19	22	23
大瀬	103	117	123	145	156

＊大瀬小は今後、新規居住者の増加と共に、児童数はさらに増加すると思われる

２．土地開発公社について

平成 19 年度決算によると畑を坪あたり約 78 万円、金利負担を含めると約 99 万円、総額約 4 億 3 千万円で市が買戻しをしているが、現在の状況を鑑みれば非常に割高と言わざるをえない。

①同年度の近隣地の公示価格は　②現在の土地開発公社の簿価額は　③簿価額の金利負担額は　④公有地拡大推進法（公拡法）第 6 条の明確な利用計画は　⑤同法第 17 条に代替地の見通しは明らかでなければならないとあるが　⑥今後も土地開発公社が先行買いをするのか　⑦買戻しを計画的に行い、供用開始を早くして金利負担を軽減すべきではないか

答弁は　①当該物件は木曽根下地区内の畑ですが、鉄道が通ると言う事で大変高く、平成 4 年度の公示価格は近隣では南川崎地区が坪あたり約 79 万円　②約 35 億 4420 万円　③金利負担累計額は約 2 億 1570 万円・19 年度分は 39,525,492 円　④区画整理地事業施行予定の種地として計画した　⑤もちろんその必要はあります　⑥今後も面整備は必要であり、公社の先行買いは行う　⑦その通りと思いますが、資金が必要であり、思うようにいかないのが現状です

私はさらに、**市長に対し**、市は街並み 100 年計画・マスタープラン・第 4 次総等々計画を立てているが、いずれも八潮市の未来は明るいですよと、つまり日の当る部分だけではないか！借金も含めて買い取り計画をしっかりと立てる。つまり「負」の部分の計画が大事ではないかと質問しました。**答弁**は市長になってまもなく負の遺産について挨拶の中で説明すると「借金やお金がないなどの暗い話はやめてくれ」と言われた。「市民に未来を語ることも必要」と自覚した。収支バランスの監視は議員の皆さんですので時々ご指摘を頂きながらしっかりと対応したい。

大久保たつおの意見

私は、改めてリーダーシップとはなにかを考えさせられました。尊敬するアメリカ合衆国第 35 代大統領のＪ・Ｆ・ケネディ氏の就任演説は**「国があなた達に何をしてくれるのではなく、皆さんが国にたいし何が出来るかを問うてください」**と歴史に残る名演説をしました。現状をしっかりと説明し、我慢して下さい。しかし必ず皆さんの理想や要望にお応えしますと明確な姿勢が必要です。買戻し計画も一般会計予算約 250 億円の内、たった 2%工夫すれば 5 億円です。つまり七年で完了します。21 年度は法人市民税の減収が予想され、22 年度は個人住民税が心配です。事業を精査し将来に禍根を残さない施策が問われます。

議員定数削減案提出　**大久保たつお**は近隣市との比較・厳しい財政状況を鑑み、みずから血を流し、削減された分はさらに汗を流すべきと３名削減の議員提案をしましたが**反対多数で否決**されました。21 年３月議会で違った形でもう一度実行し、実現に努力します。（３月議会では４名減案に修正）

【人口比・面積比でも議員数が多いことが分かります】＊人口は 20 年 12 月１日（外国人含む）

市名	人口	議員数	議員一人当りの人口	面積（K㎡）	議員一人当りの面積
八潮市	**81,261**	**24**	**3,385**	**18.03**	**0.75**
越谷市	322,437	32	10,076	60.01	1.89
草加市	241,279	30	8,042	27.42	0.91
三郷市	130,854	26	5,032	30.41	1.17
吉川市	65,000	20	3,250	31.62	1.58

21 年３月議会　議員４名減案は 5,611 名の署名を頂き、再度提出。６月議会に継続！

３月議会は３月２日から 19 日まで開催され、20 年度補正予算関係 10 議案・21 年度予算案 12 議案・条例等 20 議案・追加補正１議案・議員提出議案 10 議案につき審査しました。私は、21 年度予算９議案につき反対しました。すべてに職員の給与が平均 5%弱カット（年間平均約 31 万円）です。一昨年の賃上げ案に私はたった一人で反対をしました。その時は総額 1800 万円でしたので我慢できる金額ではないかと考え反対しました（１週間後、県は市への補助金 1900 万円カット）今回のカット総額は約２億円です。あまりにも**計画性がない**・職員の生活給を簡単に考えすぎていると思います。士気に影響すれば、市民の皆様にご迷惑をおかけする事になります。（職員数の削減が先）又、条例案については職員の給与改正案・都市計画税の 22 年１月より 50%アップ案（総額約４億９千万円）につき反対しました。（近隣で一番高くなる）

【21 年度予算】　総合計 506 億 3994 万円（政務調査費が年 10 万円に減額・県議は 600 万円）

一般会計　251 億８千万円　　上水道会計　30 億 5691 万円　　国保特別　88 億 3901 万５千円
下水道　34 億８千万円　　老保特別　5317 万５千円　　介護保険　28 億 8867 万９千円
後期高齢者　４億 4081 万６千円　　区画整理（５地区）　67 億 134 万５千円

一般質問

３点につき制限時間いっぱい

１、小中一貫教育について　　*【そこに『愛』はあるか！】*

平成 22 年度より、小中一貫教育における教育課程への前面実施に向け、研究指定を行い、小中のジョイント教室等を行っているが　①保護者・教職員・児童生徒の感想や意見は　②肯定的な意見と否定的な意見の割合は　③実は少数意見に真実がある事が多い。その中から改善ができる。おろそかにせず理解を深める努力が大事だが　④潮止中と中川小のジョイント授業と品川区伊藤学園の授業を視察したが、同じ義務教育・公立校でありながら余りにも差がある。教育長の目指す小中一貫教育とは

教育長答弁は　①今年度からすべての小中学校で「交流から連携へ」をテーマに実践を進めてきました。おおむね歓迎意見が多い（紙面の都合上詳細は割愛させて頂きます）②肯定的な意見が多いが若干否定的な意見もある。しかし、理解が深まれば変わると思われる　③議員の考えと同じだ。しっかりと理解をして頂く努力をしたい　④以前は「教育は人なり」だったが、今は「教育は施設なり」と思うことが多い。八潮の特徴を活かし、出来る事を行っていきたい。

視察した伊藤学園は全館冷暖房完備・教室と廊下の幅が同じでオープンスペース・大きな体育館が校舎内に二つ・プールは開閉式ドームで温水・その他キリがないほどの差があります。少しでもその差を埋めるのは行政であり、我々おとなの努めではないかと市長の見解を求めました。**市長答弁**は教育委員会は限られた財源の中で一生懸命やっている。施設面に関しては比較されても困る。

大久保たつおの意見

市長は４年前のマニフェストに小中一貫教育を掲げていました。しかし、21 年度の教育研究助成金は

一校当りわずか年間 7 万円です。**子供は親を選べないように住む地域を選べないのです。**私達おとなが少しでも隙間を生める努力をし、子供たちに良い環境を整備しなければいけないと思います。

2、市民の声ボックスについて

市民の声を直接、伺う方法として「市民の声ボックス」があるが、①1 年間の人数と項目数は　②その中で実現したものは

答弁は　①19 年 242 人・314 項目　20 年 223 人・367 項目　②多種多様であり、把握できない

大久保たつおは実際の回答書を紹介し、できない・極めて難しい・無理等のいわゆるモンキリ型の回答ではないか！何を言ってもダメでは失望とあきらめだけではないか！政治（行政）の努めは将来・未来に対し**夢と希望**を持って頂くことが大事ではないかと訴え、改善・工夫を提案しました。

3、財政問題について

100 年に一度と言われる経済危機が不況の波となって押し寄せ、八潮市でも中小零細企業の経営に影を落とし、市税の減収や保留地が売れないなど予算編成に苦慮したが、①21 年度は保留地 8 億円販売とあるが具体的な方法は　②50 坪規制の影響はあると思うか　③20 年度も 5.5 億円売れ残った。買う方も、売る方も、世の中も良い、つまり三方一両得の施策をやるべきだ。土地に付加価値をつける。たとえばソーラーの助成金を 1 坪分つける（すでに国・県はあります）等だ。**市長の見解は**

答弁は　①新聞折込・広報誌・つくばＥＸ車内広告・業界等へのダイレクトメール・ポステイング等　②ないと思う。不況の影響が大　③出来るならやりたいが、仕組みになっていない。法律に基づき継続性をもってやらなければならない。

大久保たつおの意見　　***【どう考えても五十坪規制は納得できない！】***　　**柔軟な思考を。**

8 億円分の保留地を売らないと償還金がありません。しかし、答弁に必死さがないと思いました。売れなかった場合のシュミレーションまであり、（9 月決算の不要額と財政調整基金の取り崩し）こんな事ではいけない！家庭でいう貯金が底をつきます。今後 7 年間で 200 億円の財源不足が予想されます。知恵をだし、汗を流し、血を流し、努力しなければなりません。動植物学者のダーウィンは生き残れるのは最も強いものや賢いものではなく最も変化できるもの（対応できる）と進化論で述べています。慣例や習慣・条例にとらわれることなく、**実情に合った施策・政策**をやっていかなければいけないと強く思います。

10/4 中川清掃活動
（川の会の皆さんと）

10/6 市長訪問　鳩山議員
行田議員・中野譲氏と

1/18 空手道（寒稽古）
（ちなみに公認 3 段です）

1/29 品川区伊藤学園
小中一貫校視察

第 4 回大久保たつお後援会バス旅行のお知らせ

会長：植竹末次郎

日　　時	21 年 6 月 21 日（日）
会　　費	お一人様 5,000 円
集合場所	八潮高校入り口　午前 7 時 30 分
行き先	房総方面（犬吠崎灯台・ヒゲタ・潮来あやめ自由見学等）

お申し込みは後援会事務所　　☎（９９６）８６１８

お申し込みはお早めに

今回は皆様にお伝えしたい事がたくさんありましたので、活動報告を載せることができませんでした。

3 月末現在　相談・要望　191 件　　解決　176 件　あなたの声をお聞かせください